

かねがさき 社福だより

2025年
第270号

令和7年1月16日発行

主な内容

- P1 はっぴいぶれいすかねがさき & 親と子のつどい
- 新年のご挨拶
- P2~4 トピックス 1~6
- P5 第3期金ヶ崎町地域福祉活動計画の中間状況
- P6 表彰 お知らせ
- P7 岩手県社福大会表彰
- P8 寄附の報告
- 募集 ご案内



はっぴいぶれいすかねがさき & 親と子のつどい



12月21日(土)、中央生涯教育センターを会場に、総勢67名が参加し、第56回はっぴいぶれいすかねがさきと親と子のつどい合同クリスマス会を開催しました。

当日は、「くらうん・しゅがー」さんによるバルーンアートや絵本の読み聞かせを楽しみ、さらに、JA 女性部や民生委員等ボランティアの皆様にご協力をいただき、参加者全員で手作りクリスマスランチを楽しみました。

また、自宅でできるクリスマスケーキキットを配付した他、毎年恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取った子ども達はとても大喜びでした。

「巳年は再生と成長の年



金ヶ崎町社会福祉協議会
会長 高橋 範夫

町民の皆様、明けましておめでとうございます。昨年中は多大なご支援とご協力を頂き心から感謝をいたします。特にもボランティアの方々、多くの物品寄附をして頂きました企業・団体の方々へ改めてお礼申し上げます。お陰様で概ね計画どおり事業を進めることができました。

今年巳年であり、皆さんご承知のとおり巳年の蛇は、脱皮を繰り返して成長します。このことから巳年は再生と成長の年と言われ、特にも人生の再出発、新しい事業のスタートにはとても良い年だといわれています。

さて、当社協にとっては、今年非常に大事な年です。そのひとつは、令和8年度から5か年間の第4期金ヶ崎町地域福祉活動計画を策定することです。現在の第3期同計画は、令和7年度までの計画で、これを総括し、何ができて何ができなかったかを明らかにし、その上で継続する事業、更には新たに組み込む事業、あるいは課題として残った事項を十分検討し町民の皆様、特に高齢者や障がい者の方々が、より安心して暮らせる実践的な福祉のまちづくり計画を令和7年度中に策定することです。

ふたつ目は、悲願であります福祉センターの建設です。当初福祉センターの完成を令和8年の4月頃と計画していましたが、国の補助金の内示時期が今年第2四半期頃になるということから、この内示が出る前の工事着工ができませんという縛りがあるため、実際の工事着工が令和7年10月頃となり、完成は当初計画から8〜9か月遅れの令和8年12月以降になる見込みであります。従いまして今年には、完成に向けて諸問題をクリアする重要な年と捉えています。

結びに、当社協も巳年にあやかっ引き続き事業見直し等を行い、脱皮、再生を繰り返して、新たな成長の年にしたいと思っております。今年も皆様のご支援とご協力をお願いいたしますと共に、各位のご健勝を心からご祈念いたします。蛇足ながら、私はへビが少々苦手です。

トピックス

話題の事業

1 第12回歳末たすけあい演芸大会

トピックス

12月14日（土）、町中央生涯教育センターを会場に、第12回歳末たすけあい演芸大会を開催しました。

当日は暖かな天候に恵まれ、約270名の方々にご来場いただきました。新たな出演者も加わった22の個人・団体に歌や踊りを披露いただき、会場は大いに盛り上がりしました。また、6つの福祉施設による物販コーナーも大盛況でした。

演芸大会での益金は全て歳末たすけあい義援金として配分しました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



2 歳末たすけあい運動義援金配分式

トピックス

12月20日（金）福祉センター大會議室を会場に、令和6年度歳末たすけあい運動義援金配分式を開催し、対象世帯の調査にご協力いただいた民生委員34名のみなさまに義援金の配分をお願いし、町内365世帯に配分していただきました。



代表受領する
民生委員児童委員協議会長 佐藤千春氏

3 ニュースポーツ体験会

トピックス



▲ボッチャ



▲モルック



▲卓球バレー

11月9日（土）、金ケ崎町自立支援協議会地域生活支援部会が、ニュースポーツ体験会を開催しました。

モルックとボッチャは金ケ崎町スポーツ推進委員の阿部喜一さんと伊藤典子さん、卓球バレーは身体障害者福祉協会会長の及川満幸さんにルール説明して頂いた後、参加者が各種目に分かれて対戦形式で試合を行いました。初めてニュースポーツをする方も楽しそうに歓声を上げ、参加者からは「また参加してみたい」との声もあり、子供から大人までニュースポーツを楽しみながら交流することができました。

4 はじめてのボランティア講座

トピックス

11月26日（火）、福祉センターを会場に、ボランティアに興味・関心がある、活動の幅を広げたいと考えている方々を対象にして「はじめてのボランティア講座」を開催しました。この講座は金ケ崎町ボランティア連絡協議会が初めて主催したもので、当日は12名の町民の皆さまにご参加いただきました。各種ボランティア活動についての説明のほか、朗読ボランティア団体たんぼぼの松本和子さんからは、実際に使用している録音器材等を見せていただきながら活動について説明いただきました。

また、ボランティア活動の見学やキャップハンディ体験等をとおして、ボランティア活動に関する理解を深めました。参加者からは「ボランティア活動に直接触れることができ、とても良かった」と感想をいただきました。



▲たんぼぼ代表 松本和子さん



▲キャップハンディ体験

5 赤十字奉仕団ふれあい交流会

トピックス

12月17日（火）金ヶ崎町赤十字奉仕団主催によるふれあい交流会が開催され、同団体と金ヶ崎町さくらの会の会員が交流を深めました。

交流会では講師として、いけばな桂流の及川春桂様をお迎えし、花を生けながらお互いの親睦を深めました。



6 スノーバスターズ出動！！

トピックス



今年も雪かきボランティア「金ヶ崎町スノーバスターズ」の活動を開始しました。12月22日には町福祉センターで出発式を開催し、今期の活動の充実を誓いました。当日は会員やボランティアの皆様 37名に参加いただき、本格的な冬の訪れを感じさせる雪が降り始める中、町内23世帯の見守りを行いました。



<対象世帯>

除雪が困難な町内の高齢者世帯や障がい者世帯

<活動内容>

玄関から門口など、日常生活に必要な範囲の除雪、声掛けなどの見守り活動

<活動日時>

1月12日、1月26日、2月2日、
2月16日、3月2日
各日9:00～11:00頃
※大雪の場合には臨時で活動することがあります。

**ボランティア
大募集中**

活動をとおして一緒に心も身体も温まりませんか？
興味がある方は社協事務局までお問い合わせください。(☎44-6060)

第3期金ヶ崎町地域福祉活動計画の中間状況 (後編)

(計画期間 令和3年度から令和7年度)

令和3年度からスタートした第3期金ヶ崎町地域福祉活動計画の後半を迎えるに当たり、現状と課題について3回シリーズでお知らせしてきましたが、今回は中間年としてのまとめとしてお知らせします。(今回は最終回)

一人暮らし高齢者世帯等の増加への対応

一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加に伴い、雪かきや草刈り、ごみ出し、買物など、日常生活上の不便を来している方が増えてきています。また、孤立死が増える傾向にあるため、新たな見守りシステムの導入のほか、地域での見守りや支え合いの仕組みづくりがますます重要になると考えられます。



▲支え合いマップの作成

ボランティア人材等の確保の必要性

人口減少や高齢者雇用の影響等により、働き手の確保が難しくなっており、各種ボランティア活動に従事していただける方の確保が困難になっており、世代交代もうまく進んでいません。地域福祉や介護事業などにおいて、ボランティアや生活支援サポーターの役割が重要になっているため、今後ボランティア人材の確保や養成がますます必要になると考えられます。



▲ボランティア講座

居場所づくりと孤立防止の必要性

介護予防や生きがいづくりの視点から、高齢者いきいきサロンやオレンジカフェ事業などがますます重要になると考えられます。また、子どもの居場所づくりとしての子ども食堂などが各地域で展開されることが望まれます。このような観点から地域で事業をリードする人材の確保や後継者対策が課題となります。



▲オレンジカフェ

交通手段確保の必要性

高齢化や免許返納等が進むことに伴い、地域福祉の充実のためには高齢者等の交通手段の確保がますます重要になると考えられます。このため、今後の地域公共交通の動向を踏まえながら、地域福祉事業における交通手段の確保を検討する必要があります。



▲ふれあい外出支援サービス

厚生労働大臣表彰

* ボランティア功労者



さとう はちろう 様
佐藤 八郎 様

雪かきボランティア「スノーバスターズ」発足時から加入し、当初から会員として会の礎を築きました。多年にわたり高齢者や障がい者宅の除雪活動に従事し、活動の推進、在宅福祉の向上に寄与されました。

* 社会福祉事業従事功労者



すが わら ま すみ 様
菅原 真澄 様

多年にわたり金ヶ崎学童保育所において学童保育所指導員として放課後児童の健全育成に尽力し、児童福祉の向上に寄与されました。

全国社会福祉協議会会長表彰

* 社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者



きく ち せい じゅ 様
菊地 成壽 様

金ヶ崎町社会福祉協議会の理事として、社協事業の充実や体制強化、地域住民への支援に尽力されました。また、平成22年から金ヶ崎町ボランティア連絡協議会の会長を務め、自身も住宅補修ボランティアに携わる等、町内のボランティア事業の推進に寄与されました。

1・2月 ふれあい福祉相談日

金ヶ崎町社会福祉協議会では、住民の皆さんの困りごとや日常生活での様々なお悩みについて相談をお受けする「ふれあい福祉相談」を実施しています。今月と来月は以下の日程で開催します。相談の際は、特に予約は必要ありません。

なお、個人情報は厳守いたします。

●日時：1月24日(金)、2月28日(金)
午後1時～4時

●場所：金ヶ崎町福祉センター
2階相談室



※お問合せ先
総務企画・地域福祉課 44-6060

年賀状廃止のお知らせ

明けましておめでとうございます。

当社会福祉協議会におきましては、社会情勢の変化や環境への配慮、儀礼の簡略化などの動向を踏まえ、令和7年以降年賀状でのご挨拶を控えさせていただきますことといたしました。

誠に勝手ではございますが、何卒御理解賜り、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

第77回岩手県福祉大会

11月13日(水)岩手県民会館を会場に、第77回岩手県福祉大会が開催されました。当町からは、次の方々が受賞されました。

●岩手県知事表彰

* 社会福祉団体の役員

【多年にわたり民間社会福祉団体の役員として社会福祉事業の推進に貢献し、その功績が顕著な方】

きく ち せい じゅ
菊 地 成 壽 様

金ケ崎町社会福祉協議会 理事



●岩手県社会福祉大会長表彰

* 社会福祉事業功労者

【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し社会福祉事業の推進に功績が顕著な方】



こん の さ ゆ り
紺 野 小百合 様

金ケ崎町社会福祉協議会
障がい福祉課主任兼
放課後等デイサービスクレヨン管理者



み た あ き よ
三 田 章 代 様

金ケ崎町社会福祉協議会
介護福祉課課長補佐兼
訪問介護事業所管理者兼サービス提供責任者

* 永年勤続功労者

【多年にわたり、社会福祉事業に従事した方】

くま がい
熊 谷 みゆき 様

愛護会 金ケ崎保育園 副園長

●岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰

* 永年勤続民生委員・児童委員

【前年度11月30日において、在任期間が通算7年に達した方】



お の で ら けん いち
小野寺 謙 一 様



寄附の報告

令和6年11月1日から
12月28日まで



ありがとうございました

◆福祉基金

匿名 5,000円

ニトリJDリーグ
金ヶ崎ラウンド実行委員会 様

21,510円▶



♥はっぴいぶれいすへ

横道ファーム 様
米 85kg

平 信子 様
お菓子 46袋

今野幸広 様
米 26kg

東北労働金庫奥州支店 様
有機大豆の炒り豆 3箱半 ▶

東北労働金庫奥州支店 様
▼ 食品・日用品・文房具等 1箱



◆物品寄付

三菱製紙(株)北上工場 様
点字カレンダー 100冊

* 視覚障がい者部会へ

北部地区自治会連合会
会長 小坂倫充 様

お菓子7袋

* 北部学童保育所へ

ご案内

生活福祉資金 教育支援資金 貸付

生活福祉資金の教育支援資金は、所得の少ない世帯に対し、学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学の入学・就学に必要な経費を貸付するものです。

合格発表前でも、入学願書・受験票の写しや納入期限が確認できる書類を添付して申込書の提出ができます。また、本制度よりも優先される公的制度があります。詳しい内容については、お気軽にご相談下さい。

(総務企画・地域福祉課 44-6060)

職員 大募集



わたしたちと
一緒に
働きましょう！

【募集職種・資格・人数】

- 介護支援専門員 [要介護支援専門員資格] 1名
- 通所介護事業所生活相談員
[要社会福祉士又は社会福祉主事等] 1名
- 通所介護事業所介護職員 [要介護福祉士等] 1名
- 通所介護事業所看護職員 [要看護師・准看護師等] ... 1名
- 学童保育所放課後児童支援(補助)員 [資格者歓迎] ... 4名
- 放課後等デイサービス(児童)指導員 [資格者歓迎] ... 2名

【待遇】 当会給与規程による。【採用時期】 令和7年4月1日

【応募方法】 電話でお問い合わせください。☎ 44-6060

社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL : 0197-44-6060 FAX : 0197-44-6106

Eメール : kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syaky.jp>



★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

